

第19期 令和元年度 活動報告

1. 市民協働の支援事業

(1)協働のまちづくり支援(専門家派遣・自主) ※継続

ー各地域からの要請に基づいて、協働のまちづくりを進めるための人材育成等の関する相談を受けるとともに講座等の講師を派遣する。

(2)三遠南信住民ネットワーク協議会の運営支援(自主事業・一部委託事業) ※継続

○世話人会：住民ネットワーク協議会の副代表世話人として世話人会に参加した。

○サミット：三遠南信サミット2019in南信州に対して、住民セッションの企画・運営、サミット分科会発言者として参加を行った。

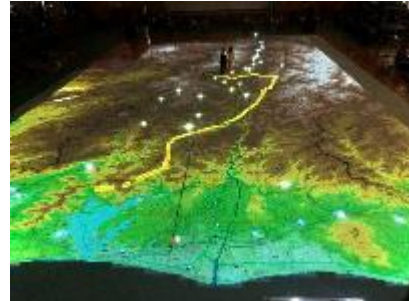
20190hは、「防災」がテーマであった。10月30日飯田市内で開催。



住民セッションの運営



三遠南信サミット2019in南信州



災害プロジェクションマッピング

2. 環境保全の支援事業

(1)はまなこ環境ネットワーク関連業務 ※継続

①浜名湖エコキッズ体験塾の実施(1回・自主事業)

○実施日 7月13・14日(日)

○内容 浜名湖ミナトリング2019の会場～表浜名湖及び弁天島いかり瀬(船で湖上の漁場や風景などの遊覧、干潟においてアマモ場のいきもの観察)

※浜名湖ミナトリングのイベント会場で「浜名湖魅力発信隊」の体験コーナーに出展し、エコキッズ体験塾も「はまなこ環境ネットワーク」の自主事業として開催の支援をした。



湖上からの漁業、風景の観察(漁師の解説)



干潟のいきもの観察

②浜名湖環境保全団体情報発信・交流会開催の支援（委託・継続）

- 情報発信 8月～2月（取材団体：6団体、広報誌発行 2回）
 - －環境保全団体や企業を取材して活動情報をSNSや情報誌で発信した。
 - －また、はまなこ環境ネットワークの公式HPを復活し、活動情報などを発信した。
- 交流会 9月8日（日）
 - －環境保全に関する講座（浜名湖と生物多様性）
 - －環境保全団体の活動発表
 - －浜名湖の環境保全に関する意見交換ワークショップ



(3) 浜名湖プラスチックごみを考えるワークショップ（浜名湖の水をきれいにする会⇒Tネット）

海洋プラスチックゴミが社会問題となり、浜名湖でも市民等にプラスチックゴミに関心をもってもらうため、浜名湖の水をきれいにする会主催で親子で調べて、学んで、考えるための体験型ワークショップの企画・実施を行った。

- 11月17日（日） 館山寺温泉のサンビーチでの「ごみ収集調査」
- 庄内協働センターでの「ワークショップ」（行動提案、終了証授与）



浜名湖のごみを拾って、調べて、考えて→そして各自・各家庭で行動宣言！

3. 地域文化の伝承・景観形成の支援事業

(1) 清水次郎長生家の管理運営業務（補助・一部自主事業） ※継続

- ー引き続き静岡市(所管文化財課)からの委託業務として運営した。
- ー次郎長を知っている世代の高齢化がしてくることから若い世代が生家を訪れる仕掛けとして静岡県舞台芸術センターの俳優と音楽とのコラボプログラムを実施した。
- ー昨年度と同様5人のスタッフで運営し、2月のダイヤモンドプリンセスが5週間にわたり来航するなどの客船観光客に対してマップのリニューアル、英訳版の作成などを行ったが、コロナ禍によりことごとく中止となった。
- ー4月18日土曜日から5月31日日曜日まではスタッフは内勤として来館者を受け付けないで対応した。

- ①次郎長パンフレットの増刷
- ②次郎長生家ホームページの開設(ブログとの連携)

<https://jirocho-seika.jimdofree.com/>

- ③中高校生の職業体験プログラム：静岡北高校生徒3名
- ④次郎長生家周辺の猫による生家説明展示：

ー5月～8月まで

- ⑤「粋な大人の次郎長生家」の芸術プログラムの実施
- ⑥次郎長生家ハロインの実施 10月31日
- ⑦次郎長と港を活かした清水活性化協議会の設立

ー10月に準備会、11月に設立総会を経て協議会を設立した。

ー企業11社、活動団体19団体、公益団体2団体オブザーバーが静岡市で設立

ー次郎長生誕200年を契機に次郎長を地域の偉人とする事と、新しい清水港の次郎長ブランドの確立を目指す。



(2) 小山町 文化遺産を活かした巡拝の道づくり地域活性化事業(補助) ※継続

- ー小山町須走まちづくり推進協議会が文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」に採択され、富士浅間神社を中心に「巡拝の道」ルートの設定し、現代版の富士講の“行”が体験できる環境やシステムの構築を図る事業である。この事業の企画立案、実施協力を行った。

<令和元年度事業>

①情報発信事業

- ー委員会の実施、映像の作成(4点)、パネル制作2枚、映像貸出システム

②人材育成事業

- ー委員会の実施、人材養成講座(10回、すばらしり隊ドリルの作成)

③普及・啓発事業

- ー夏越大祓い・お山開とお山仕舞い 富士山ウォークの開催

(3) 国道138号景観形成ワークショップ(委託)※継続

- ー富士山の山麓を走る国道138号において、住民・事業者・行政等が協働で道路景観の向上を図る活動や体制をつくる事業である。
- ーワークショップ会議は、御殿場地区では4回(活動2回)、小山町須走地区では3回実施した。
- ー現場で道路景観形成の具体的な美化活動を実施した。
- ー御殿場の継続体制に寄与することを目的にしたチラシを作成した。
- ー1月には御殿場市、小山町、沼津国道の関係者で継続のための意見交換ワークショップ会議を自主的に実施した。

<小山町須走地区>

- ・プレオリンピックに合わせて神社周辺の自転車コースの美化活動を行う。
- ・参加者は約220人となった

<御殿場市>

- ・6月に東田中地区、11月には湖水前交差点(県管理地)を実施した。
- ・6月は当初101人の参加予定であったが、雨で順延し61人にて実施した。11月は92名の参加となった。



(4) 東海道2峠6宿風景街道に関する取組(自主事業・委託) ※継続

ー協議会の事務局として2峠6宿のまち歩きに関する情報等の提供を行うとともに、歩きやすい環境を整えるための美化活動や環境整備を行った。

①組織の運営 : 静岡二峠六宿街道観光協議会の運営(自主事業+静岡市から協議会に助成金)

ー令和2年度の総会は書面決議として実施

②運営資金の確保 : 東海道2峠6宿冊子の販売

③ウォーカーへの情報発信

- ・HPの維持・改変中
- ・マップの作成: 丸子宿+宇津ノ谷峠/興津宿+薩埵峠/江尻宿+江尻広域

④磨き上げ事業: 旧東海道の標示マークの設置

- ・ガイド委員会の開催
- ・交差点や曲がり角19箇所80枚以上、民地側には約140枚程度の設置
- ・長田西小学校6年生への課外授業に参加

⑤2峠6宿情報発信

○府中宿静岡祭り、丸子宿宿場祭りへの出店



(5)ぐるり富士山風景街道に関する取組(自主事業)※継続

- ① ぐるり富士山風景街道HPの維持管理
- ② ぐるり富士山風景街道一周清掃2019の企画・実施
—ぐるり富士山一周清掃・両県合同清掃は台風19号接近により中止した。
- ③ ぐるり富士山サイクルネット研究会
—「サイクリングの受入れ態勢」検討
—富士山一周（フジイチ）×琵琶湖（ビワイチ）のサイクリング連携として、琵琶湖からの提案に基づき、サイクリングを通じた連携事業を検討した。
 - ・11月18日 静岡・山梨・滋賀のWEB会議（3つの財務事務所）
 - ・1月29日 ぐるり富士山サイクルネット研究会開催（琵琶湖との連携承認）
 - ・2月6日 フジイチ×ビワイチ連携会議発足（滋賀県守山市内）財務事務所が両地域を仲介



(6)朝霧地区景観形成ワークショップ会議(自主事業)

- 朝霧地区で景観形成ためのワークショップ会議の開催をコーディネートした。
 - 令和元年度は、白糸地区の住民が田園風景を守っている平成棚田周辺での活動となった。
 - 7月25日 ワークショップ会議（活動候補地の現地確認、内容の検討）
 - 10月24日 フィールドワーク（白糸・平成棚田）
- ※第3回は中止



活動場所、内容を話し合う



平成棚田付近のガイドレール塗装や清掃活動

(7) 静岡国道事務所管内風景街道の広報活動業務(提案) ※継続

① ぐるり富士山風景街道の広報活動(役務)

ーぐるり富士山風景街道を周知するため、富士山一周サイクリングルート太平洋岸自転車道を連携するルートの検討・実走調査・道路環境の提案を行い、ルートマップデータを作成した。

- ・接続ルート 5ルート(提案)
- ・フジイチルートの課題整理

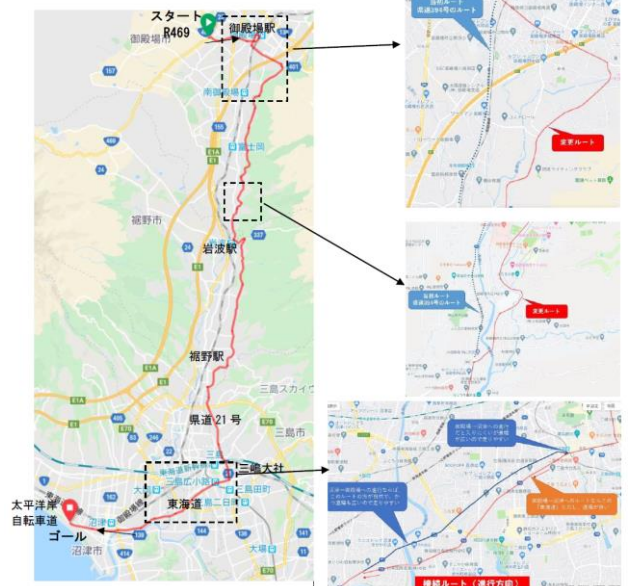


実走調査



4) 接続ルートDの現地確認 フジイチ(御殿場 R469)～三島～太平洋岸自転車道(沼津)
距離: 35.1km 獲得標高 上り139m、下り636m

※一部検討ルートを現地確認において修正



②東海道駿河2峠6宿風景街道の広報活動（役務）

ー静岡国道事務所管内の風景街道の取組である、『東海道「駿河二峠六宿風景街道」』について、道のエコミュージアム・風景街道の考え方を活かし、道の駅を含め宇津ノ谷一帯が活性化するための検討会議を行った。

①道の駅・宇津ノ谷峠の基礎的な条件の整理

②地元住民意見の抽出

ーコロナ禍のため1回実施した

○日時：令和2年3月7日1時30分～16時

○場所：長田西小学校体育館会議室

○参加者：44名 地元他34人、静岡市3人、国2人、サポートネット4人



(8)大井川流域・茶園景観向上ワークショップ(委託) ※新規

大井川・牧之原地域で策定した景観行動計画のモデル地区での活動として、川根本町ぬた平の茶園景観を向上させるため、住民・地域のNPO・流域市町・県と一緒に茶園の倉庫の修景美化活動を行った。倉庫の屋根の葺き替えは業者に委託し、壁面の塗装を住民や関係者の手でを行った。

活動は3月となったので新型コロナウイルス感染拡大により、一般住民の参加は極力避け、関係者限定による作業とした。



(9) 富士山朝霧高原景観管理の取組支援(自主事業)※継続

－国土交通省の「道路協力団体」第1次指定を受けた協議会として、道路の景観管理活動と必要な活動資金を道路空間の占用許可緩和を受け、得ていくための取組みを行った。

- 道路景観管理活動 草刈、清掃4地区 1～2回程度(7月1回、9月2回)
 - 活動の財源確保 道路空間へ設置した自動販売機の収益、事業者と協働して「店頭募金箱」設置による募金収入など
- 令和2年3月より道の駅朝霧高原内に自動販売機1基が追加設置された



道路空間に設置している自動販売機

道の駅に新設

店頭募金

(10) NPO日本風景街道コミュニティの事務局支援(自主事業・事務局委託) ※継続

－NPO 法人日本風景街道コミュニティが開催するフォーラムに参加し、全国の風景街道ルートの団体と交流を図り、風景街道に関する情報交換を行った。。

- 日本風景街道 総会 令和元年8月2日(金) 東京・土木学会会議室
- 日本風景街道大学 ニセコ羊蹄キャンパスに参加
令和元年9月20日(土)・21日(日) 北海道ニセコ町
- 風景街道コミュニティ事務局(コミュニティシンクタンク)
－全国の風景街道の自治体連絡会などの事務局などを担った。



ニセコ羊蹄キャンパス全体会



分科会



エクスカーション 自転車で羊蹄山半周

4. 観光まちづくり・地域振興支援事業

(1) 浜名湖サイクルツーリズム業務(委託・一部自主事業) ※継続

- ー浜名湖サイクルツーリズム推進会議のメンバー（座長及び作業グループ）として関わり、サイクルツーリズムとして国内外の自転車旅の誘客事業に取り組んだ。
- ーガイド養成、インバウンド旅行商品造成、広域連携（琵琶湖・霞ヶ浦・浜名湖の三湖連携、渥美半島との太平洋岸自転車道連携、塩の道サイクルツーリズムの連携）などに取り組んだ。
- ーe-BIKEの聖地に向けたスポーツE-BIKEのレンタル実験、レンタサイクルの予約一元化実験
- ーハマイチ+（PLUS）の浜名湖一周以外の派生ルート開発

●e-bike レンタサイクル：クロスバイク：8台

場所	レンタル拠点	設置種類・台数	備考
JR 浜松駅前	はままつペダル	クロスバイク 3台	当初クロス5台
JR 鷺津駅前	はまなこサイクル	クロスバイク 3台	
JR 弁天島駅前	舞阪町観光協会	クロスバイク 2台	2020年2月から配置
奥浜名湖(気賀)	奥浜名湖田園空間博物館	クロスバイク 2台	2019年12月まで



はままつペダル



はまなこサイクル



舞阪町観光協会(弁天島)

e-bike レンタサイクル普及実験



塩の道サイクルツーリズム試走（飯田駅～辰野町）



浜名湖×渥美半島連携事業



台湾のFAMツアー（ガイドライド）



三湖連携首都圏PR@南青山OVE

(2) はままつ都市型レンタサイクル事業の実施(自主事業)

- ー浜松駅前JR高架下のレンタサイクルステーション「はままつペダル」の自主運営を行っている。

2019年1月より浜松市の実証実験から自主事業に変わり、拠点を移設して観光・サイクルツーリズムの受け皿としての機能を担っている。

- ・スタッフ フルタイム1名、パート・アルバイト3名
(平日1人、休日は2人体制で運営)



・保有台数	75台
・利用実績	3,515台(18ヶ月)
・売上額	4,840千円(レンタル等18ヶ月)
・	+4,500千円(運営協力18ヶ月)
・計	9,340千円(@518千円)

(3) 箱根八里街道観光に関する取組への協力(委託) ※継続

①国土交通省の社会実験現地実証実験への協力

ー東海道「箱根八里」を活用したサイクルツーリズムを推進するため、自転車が安心・安全に走行できる道路環境の創出、沿道施設の自転車利用者受入れ体制の整備などを目指した現地実証実験実施（特に情報発信）に協力した。



自転車走行空間・誘導サイン、受入れ施設

②文化庁「日本遺産魅力発信事業」の実施協力

ー三島市・函南町・箱根町・小田原市の2市2町の「箱根八里」の街道観光が日本遺産の登録を受け、地域の文化財を活かして、訪日観光客を誘客するための体制づくり、仕組みづくりの「日本遺産魅力発信事業」に取組んだ。

ー3年セットの2年目。

○情報発信（WEBサイト、プロモーション）



ーこの事業は、NPO法人全国街道交流会議と連携し、協力した。

(4) 富士西麓グリーンツーリズムサイクリング促進事業(委託) ※新規

静岡県富士農林事務所による富士西麓（朝霧高原）において、農林業、観光振興とe-bikeの普及を目指し、富士山西麓（朝霧高原）の農林畜産業の施設を観光客等が自転車で巡るためのサイクリング情報収集やルート作成を行い、グリーンツーリズム施設を巡るサイクリングのMAPを作成した。

○ルート 3ルート（各20km前後）

○サイクリングマップ 10,000部作成



(5) 三遠南信地域の県境を越えた滞在型サイクリングの基礎調査(委託) ※新規

静岡県西部地域局からの依頼により、遠州スタートで三遠南信圏内を滞在型でサイクリングするための情報収集（宿泊施設、受入れ体制、見どころ）とサイクリングルートを作成した。

なお、サイクリングMAPは次年度作成する予定。



(6) 浜名湖魅力発信隊体験イベント(委託) ※継続

—静岡県西部地域局が立ち上げた「浜名湖魅力発信隊」（浜名湖周辺で活動する地域団体のネットワーク）が連携して、浜名湖ミナトリング2019に併せて体験イベントを企画・実施する。

○7月13日（土）・14日（日）湖西市新居 浜名湖

自然体験、クラフト体験、サイクリング試乗体験などのブース出展



ミナトリング2019



子どもの自転車体験



活動団体のPRブースコーディネート

(7)UD提案事業「UDツーリズム業務」(助成事業) ※新規

外国人観光客を受け入れるため、事業者向けの英語のおすすめメニューづくり＆“おもてなし”の体験ワークショップを行った。

○実施 9月12日(木)開催

○内容

- ・外国人の“おもてなし”ミニ講座
- ・各店おすすめメニューシートの作成
- ・おすすめメニューシートで接客体験

○対象者：浜松市内の飲食店、

UDに興味がある人



(6)中部ブロック「道の駅」連絡会事務局(委託) ※継続

－中部ブロック「道の駅」連絡会事務局の静岡県担当として関わる。

－総会(8/27 1回)、役員会(8/19 1回)、駅長会議(6/19 1回)、道の駅活性化会議静岡県分科会(12月頃 1回)の運営。

－全国「道の駅」防災セミナー@富士宮にパネリストとして参加(9/29)

－静岡県サイクルスポーツ聖地創造会議会に道の駅連絡会事務局として参加する。

5. 安心・安全なまちづくり支援事業

(1)福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業(補助) ※継続

① 見守り・相談・情報発信

○相談受付・情報提供

－窓口相談(住まい・就労・子育て・新聞の閲覧等)、行政からの避難者紹介の取次

○電話連絡(電話での近況伺い、ニーズの聞き取り)

○個別訪問・面談(目標:延べ15世帯 静岡県内全域)

○エリア別相談・交流会の実施(目標:3回)

○アンケート実施(避難者の情報やニーズを把握)7月実施

○ニュースレターによる情報発信

－静岡県内の避難者向け広報誌「虹のおたより」の取材、編集・発行(3回程度)

○被災者体験冊子の作成(24ページ・2,000部)

－避難者が避難先で体験したことや活動していることを紹介。



東日本大震災から2回
目となる被災者体験冊
子を発行

② コミュニティ形成・促進支援

○避難者同士交流会

- －農園収穫ランチミニ交流会（袋井市） 1回（農園で収穫した野菜でランチを作る）
- －12月8日 浜名湖みかん狩り体験交流ツアー（日帰りバスツアー、浜松市北区）

○避難者同士・避難先地域住民交流会

- －貸農園を借りて農作業交流（袋井市）月2回
- －貸農園「収穫祭り」での交流（袋井市）10月予定
- －エリア相談交流会（掛川市及び富士市各1回）

○避難者同士及び避難者と帰還者、交流・情報交換会

- －「ママカフェ@はままつ」の開催 9/16（日）
- －ふくしま子ども支援センターや東海地区の避難者支援団体との情報交換会への参加

○避難者団体や支援団体との交流・活動のサポート

- －ふくしま絆の会（掛川市）活動サポート
- －掛川市社協の福祉イベント「ふれあい広場」への出展協力（10月）



農園交流作業（袋井市）



ミカン狩り交流ツアー



避難ママの交流会「ママカフェ」

(2)災害時自転車活用社会実験 実行可能性(FS)調査 ※新規

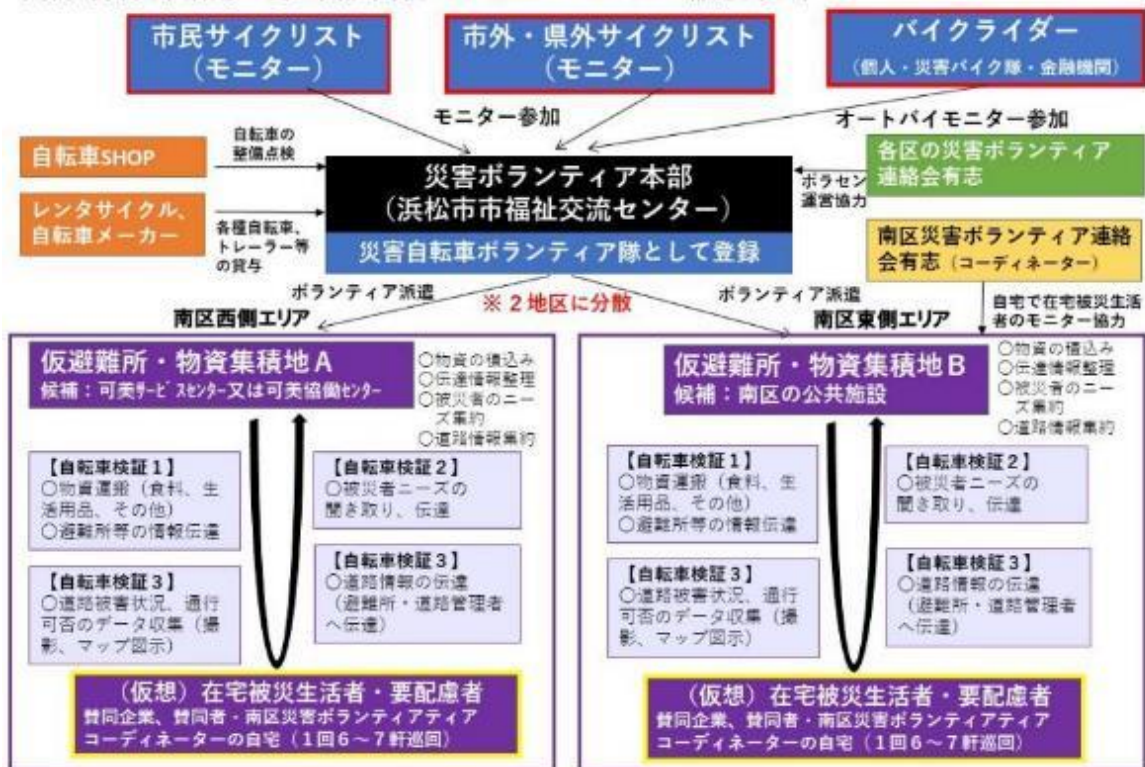
ーサイクルツーリズムの人・モノ・場所・仕組みを非常の救援・物資運搬など復旧活動にも活かしていくため、国土交通省の社会実験の実行可能性調査（FS調査）を企画提案し、協議会事務局として実行可能性調査の実施・とりまとめ作業などを行った。

- 災害時における自転車活用情報の収集
- 自転車による物資運搬等の計画作成

(浜松市1ヶ所・湖西市1ヶ所・浜名湖SA)



災害時自転車活用 現地実証実験のシミュレーション (浜松市内)



※FS 調査を踏まえ令和2年度社会実験現地実証実験に応募

6.その他目的を達成に必要な事業

(1)静岡地域学会の活動協力 (自主事業) ※継続

ー静岡地域学会の研究発表会に参加協力。

※7月27日(土)に開催予定であったが、台風接近により開催中止

(2)新型コロナウイルス感染拡大に伴う「持続化給付金」の申請

ー新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言等により、売上が大幅に減少した。そのため、国の持続化給付金を受給した。特に拠点施設であるレンタサイクルはままつペダルの休業・利用者大幅減少、次郎長生家の休館に伴う物販収入の減少が大きかった。